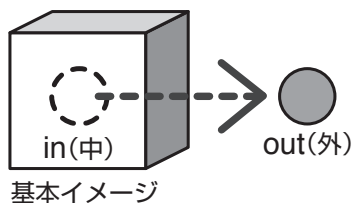


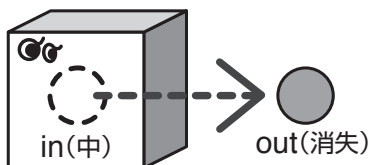
OUT の基本イメージと世界観

outの基本イメージは「外」です（基本イメージ）。



よって out (外) は in (中) の対比語になります。watch / look out には「用心する」という意味があります。これは、注意が行き届かない場所、つまり視界から外れた (out) ところに目を向ける (watch / look) ということは、「用心する」ことであるためです。また、中 (in) から外 (out) に出るという動きから、様々な意味が生まれます。例えば観察する人の視点によって意味が異なる表現として「出ていった」と「出てきた」が挙げられます。観察する人の視点の中 (in) に置かれた場合、「出ていった」と、ある対象が自分の視界から「消えた」、あるいは「なくなった」という意味になります (イメージ①)。

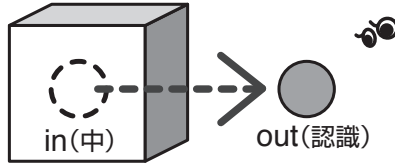
イメージ①



反対に、観察する人の視点が外 (out) に置かれた場合、「出てきた」

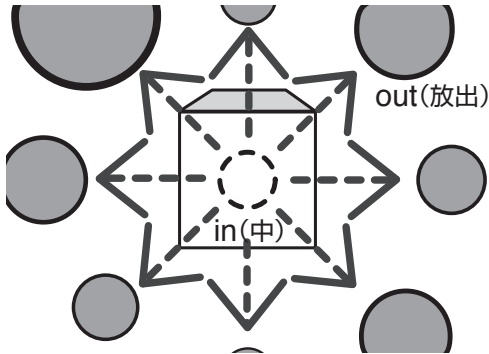
と、ある対象が自分の視界に入ってきて、その対象の存在が「認識される」ようになったことを意味します（イメージ②）。

イメージ②



観察する人の視点がどこに置かれるかによって、このように意味が異なります。また、同じ外（out）に出るという意味でも、放射状に広がるように出ていくイメージも持っています（イメージ③）。

イメージ③

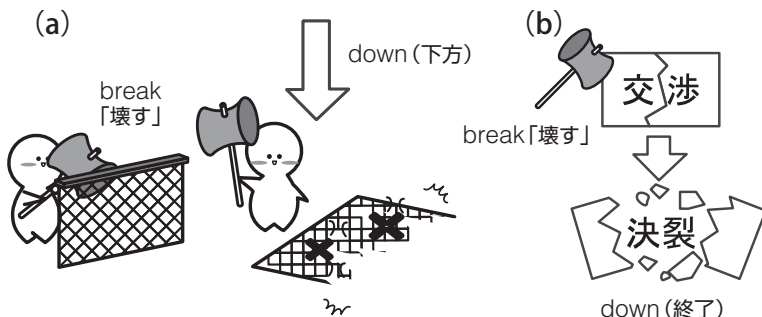


それでは out（外）のイメージを意識しながら、具体的にどのように使われるのかを見ていきましょう。

5 break 「壊す」

break down (a)「～をたたき壊す」(b)「(交渉・計画などが)決裂する」

英 1.8 : 1 米



建物などを壊す (break) ことによって、それが下方 (down) へ崩れていく様子から break down は「～をたたき壊す」という意味になります。また、関係を壊し (break) て、その関係が終了 (down) すれば、「決裂する」という意味にもなるのです。

(a) At the Climax Series, between Tigers and Dragons, Tigers fans **broke down** a wire fence.

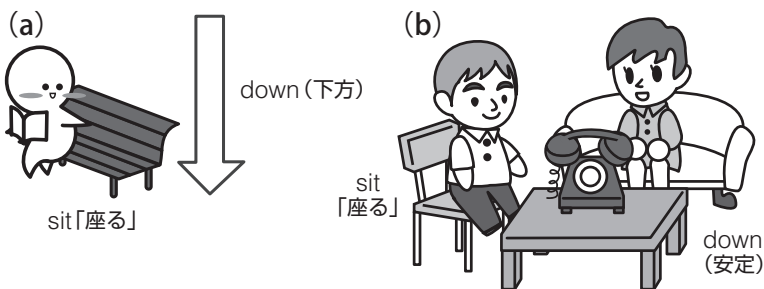
(タイガースとドラゴンズのクライマックスシリーズで、タイガースファンがフェンスをたたき壊した)

(b) The negotiation **broke down** this month.

(その交渉は今月決裂した)

6 sit 「座る」

sit down (a)「～に腰を下ろす」(b)「<sit down and 動詞の形で>腰を落ち着けて～に取りかかる [～する]」 [英] 1 : 3 米



腰を下ろして (down) 座れ (sit) ば、sit down で「～に腰を下ろす」という意味になります。“腰を据える”ことは日本語の感覚でもよくわかるように、落ち着いて物事に専念することを意味します。ここから、「腰を落ち着けて～に取りかかる」という意味でも使われるのです。

(a) I bought myself a cup of coffee and *sat down* on a bench to read.

(私はコーヒーを買ってきて、本を読むためにベンチに腰を下ろした)

(b) We *sat down* and waited for them to call.

(私達は腰を落ち着けて、彼らが電話してくるのを待った)

☞ 「座る」の意味と後続する前置詞の選択は ON の sit の項目 (p.94) を参照